

厚木市産業マスタープラン前期実施計画 令和4年度取組状況

資料1

プラン全体 36単位施策
 成果指標達成 24単位施策 (概ね達成を含む)
 成果指標未達成 10単位施策
 単位施策における達成率 66.7%

【結果の見方】
 ・達成 … 達成率100%以上
 ・概ね達成 … 達成率80%以上100%未満
 ・未達成 … 達成率80%未満

	単位施策	目標	実績	結果	達成率	達成率が大幅(200%以上)に上回った理由 又は 達成率が大幅(80%未満)に下回った理由
I-1-(1)	事業者の経営課題解決と経営基盤の安定	1,700件	3,437件	達成	202.2%	コロナ禍で、国等の行う補助金の申請等に係る相談が増加したため。
I-1-(1)	市内での事業継続を支援	4件	0件	未達成	0.0%	事業承継の相談窓口となる有効な対策をとることが難しかったため。
I-1-(2)	事業者の経営状況に応じた融資制度の充実	1,240件	811件	未達成	65.4%	昨年度と比較して実績値は増となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大時に国が実施した実質無利子・無担保融資などにより市制度融資の需要が減少した影響が残っているため。
I-1-(3)	研修機会の提供	75%	88%	達成	117.3%	
I-1-(3)	横断的なネットワーク形成を支援	25店	26店	達成	104.0%	
I-2-(1)	企業誘致をめぐる自治体間の競争に対応	3件	1件	未達成	33.3%	新型コロナウイルス感染症の影響や原材料費の高騰等により、計画の変更がなされ、令和4年度内の立地が見送られたため。
I-2-(1)	積極的な企業立地の推進	15人	7人	未達成	46.7%	新型コロナウイルス感染症の影響や原材料費の高騰等により、計画の変更がなされ、想定より令和4年度内の立地件数が減少したため。
I-2-(2)	市内企業への再投資の推進	6件	3件	未達成	50.0%	新型コロナウイルス感染症の影響や原材料費の高騰等により、計画の変更がなされ、想定より令和4年度内の立地件数が減少したため。
I-3-(1)	設備投資の促進	182,000千円	105,954千円	未達成	58.2%	昨年度と比較し、設備投資をする企業が減少し、設備投資額が目標値を下回ったため。
I-3-(1)	経営相談の実施	50件	50件	達成	100.0%	
I-3-(2)	取引拡大・販路開拓の支援	30件	37件	達成	123.3%	
I-3-(2)	地域資源をいかした産業の創出	2件	-	未達成	0.0%	令和4年をもって事業廃止のため。
I-3-(3)	生活支援ロボットの普及促進	4件	3件	未達成	75.0%	通称をつけることで一目で補助内容がわかるようにするとともに、HPの活用及び巡回訪問での案内を行ったものの、申請企業が想定より少なかったため。
Ⅲ-2-(1)	働き方改革の実現に向けた取組を支援	4件	3件	未達成	75.0%	
I-3-(3)	ATSUMOとの協働事業の推進	250人	605人	達成	242.0%	児童館で行っていたロボットリテラシー事業を小学校で行うことができ参加者数が目標を大きく上回ったため。
Ⅱ-1-(1)	商店会の相互連携を支援	14事業	16事業	達成	114.3%	
Ⅱ-1-(1)	商業振興事業を支援	14事業	16事業	達成	114.3%	
Ⅱ-1-(2)	空き店舗を活用した中心市街地の活性化	35%	31.2%	概ね達成	89.1%	
Ⅱ-2-(1)	新たな顧客獲得機会を支援	44%	46.4%	達成	105.5%	
Ⅱ-2-(1)	商業振興事業を支援	14事業	16事業	達成	114.3%	
Ⅱ-3-(1)	まちの魅力創造	44イベント	34イベント	未達成	77.3%	商店会において、予定していた事業が中止となったため。
Ⅱ-5-(1)	住民等による主体的な取組を支援	44イベント	34イベント	未達成	77.3%	
Ⅱ-3-(2)	商店街の連携による共同事業を支援	35%	31.2%	概ね達成	89.1%	
Ⅱ-4-(1)	幅広い年代へのサポートを支援	360店	354店	概ね達成	98.3%	
Ⅱ-4-(2)	環境と人にやさしい商店街づくりを支援	58%	56.7%	概ね達成	97.8%	
Ⅱ-4-(3)	環境と人にやさしい商店街づくりを支援	58%	56.7%	概ね達成	97.8%	
Ⅱ-4-(4)	環境と人にやさしい商店街づくりを支援	58%	56.7%	概ね達成	97.8%	
Ⅱ-4-(5)	市内店舗の効果的なPRを支援	10事業	14事業	達成	140.0%	
Ⅱ-5-(1)	大規模小売店舗との連携	35%	31.2%	概ね達成	89.1%	
Ⅱ-5-(1)	一体的なまちづくりを推進	110,500人	94,327人	概ね達成	85.4%	
Ⅲ-1-(1)	生活基盤づくりの支援	40件	63件	達成	157.5%	
Ⅲ-1-(2)	起業・創業の支援	3人	3人	達成	100.0%	
Ⅲ-1-(2)	人材確保の支援	50人	120人	達成	240.0%	事業を開始し2年目であることから制度の周知が図られ申請者が増えたため。
Ⅲ-2-(1)	通勤環境の向上を支援	8社	8社	達成	100.0%	
Ⅲ-2-(2)	福利厚生を推進	5,100人	5,022人	概ね達成	98.5%	
Ⅲ-2-(2)	余暇活動の充実	1,500人	1,037人	未達成	69.1%	3年ぶりの開催であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者数が伸びなかったため。
Ⅲ-2-(3)	高齢者や障がい者の雇用促進	41件	39件	概ね達成	95.1%	
Ⅲ-2-(3)	若者・女性の就労支援	50人	295人	達成	590.0%	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンラインで開催したことから、参加者数に制限を設けなかったため。

産業マスタープラン前期実施計画 取組状況 (I 持続性の高い強い産業の実現)

基本方針	基本施策	単位施策	関連事業	計画と実績						成果指標	現状値 (令和2年度)	目標と実績			
				令和3年度		令和4年度		令和5年度				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績						
1 強い経営基盤の構築	(1)持続可能な産業振興を支援	①事業者の経営課題解決と経営基盤の安定	・商工業振興事業補助金 ・中小企業相談所事業補助金	適切な金額による補助の実施	商工会議所の計画に基づき、商工業振興事業等補助金を交付した。	適切な金額による補助の実施	商工会議所の計画に基づき、商工業振興事業等補助金を交付した。	適切な金額による補助の実施	中小企業相談所の相談件数	3,665件	目標	1,600件	1,700件	1,800件	
		②市内での事業継続を支援	・事業承継支援事業補助金	事業の周知 関係機関との連携	事業承継支援事業補助金は、申請がなかった。周知については、市ホームページや商工会議所広報誌に掲載しているほか、神奈川県事業承継ネットワークにもお願いした。	事業の周知 関係機関との連携	事業承継支援事業補助金は、1件申請があったが、要綱に定める要件に合致せず不交付決定とした。周知については、市ホームページや商工会議所広報誌に掲載しているほか、神奈川県事業承継ネットワークにもお願いした。	令和4年度をもって廃止	事業承継支援事業補助金交付件数	2件	目標	3件	4件	5件	
	(2)経営支援	①事業者の経営状況に応じた融資制度の充実	・中小企業融資制度預託金 ・中小企業融資事業補助金	コロナ禍における市制度融資制度の検討 前年度実績の分析及び検証	市制度融資は、国の無利子無担保融資の影響で、例年に比べ実績が少なかった。近年利用のない融資資金について、廃止を検討したが、翌年度以降に需要が見込まれたため継続した。	・アフターコロナにおける市制度融資制度の検討 ・前年度実績の分析及び検証	市制度融資は、国の無利子無担保融資の影響で、例年に比べ実績が少なかった。近年利用のない融資資金について、令和5年度から廃止することとした。	・アフターコロナにおける市制度融資制度の検討 ・前年度実績の分析及び検証	中小企業資金融資利子補給金交付件数	999件	目標	1,220件	1,240件	1,260件	
		②横断的なネットワーク形成を支援	・商店会連合会振興費補助金	商店会連合会への新規加入者増により組織力を強化	商店会連合会への新規加入を促すとともに、大売出し等の事業で各商店のつながりを強化した。	商店会連合会への新規加入者増により組織力を強化	商店会連合会への新規加入を促すとともに、大売出し等の事業で各商店のつながりを強化した。	商店会連合会への新規加入者増により組織力を強化	商店会連合会への新規加入店舗数	25店	目標	20店	25店	30店	
	(3)人材育成	①研修機会の提供	・商業活性化セミナー事業費	研修機会の提供	商業活性化セミナーを開催し、新たな顧客獲得機会につながるよう支援した。(「筆ペンPOP講座」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	研修機会の提供	商業活性化セミナーを2回開催し、新たな顧客獲得機会につながるよう支援した。	研修機会の提供	セミナーの内容に満足していると回答した参加者の割合	68%	目標	70%	75%	80%	
		②横断的なネットワーク形成を支援	・商店会連合会振興費補助金	商店会連合会への新規加入者増により組織力を強化	商店会連合会への新規加入を促すとともに、大売出し等の事業で各商店のつながりを強化した。	商店会連合会への新規加入者増により組織力を強化	商店会連合会への新規加入を促すとともに、大売出し等の事業で各商店のつながりを強化した。	商店会連合会への新規加入者増により組織力を強化	商店会連合会への新規加入店舗数	25店	実績	80%	88%		
	2 企業誘致による強い財政基盤づくり	(1)効果的な誘致活動の推進	①企業誘致をめぐる自治体間の競争に対応	・企業立地奨励金 ・戦略産業奨励金	企業に対する誘致活動 条例改正による効果の検証	令和3年3月の条例改正を周知するため、企業誘致に関するパンフレットを作成し、県内企業2,000社に送付した。	企業誘致に関するパンフレットを、市内製造業及び戦略産業を営む県内企業2,000社に送付した。	企業に対する誘致活動	他市からの立地件数	1件	目標	2件	3件	4件	
			②積極的な企業立地の推進	・企業立地奨励金 ・戦略産業奨励金	企業に対する誘致活動 条例改正による効果の検証	産業振興推進委員会において、新たに市内に立地した企業2社の立地奨励措置の審査を行った。	企業に対する誘致活動	産業振興推進委員会において、新たに市内に立地した企業4社の立地奨励措置の審査を行った。	企業に対する誘致活動	企業立地に伴う新規雇用者数	8人	目標	10人	15人	20人
		(2)市内企業への更なる支援	①市内企業への再投資の推進	・企業立地奨励金 ・戦略産業奨励金	企業に対する誘致活動 条例改正による効果の検証	上記のパンフレット送付に合せ企業立地に関するアンケートを実施し、希望する市内外の企業約50社を訪問した。	企業に対する誘致活動	上記のパンフレット送付に合せ企業立地に関するアンケートを実施し、希望する市内外の企業37社を訪問した。	企業に対する誘致活動	市内企業の開設、増設、移設件数	3件	目標	5件	6件	7件
												実績	2件	3件	

産業マスタープラン前期実施計画 取組状況 (I 持続性の高い強い産業の実現)

基本方針	基本施策	単位施策	関連事業	計画と実績						成果指標	現状値 (令和2年度)	目標と実績		
				令和3年度		令和4年度		令和5年度				令和3年度	令和4年度	令和5年度
				計画	実績	計画	実績	計画	実績					
3 先進技術に積極的に取り組むことのできる環境づくり	(1)生産性向上に向けた取組の支援	①設備投資の促進	・中小企業設備投資促進事業補助金	補助率改定による効果の検証	設備投資促進事業補助金は、8件9,386千円を交付した。申請者からは、今年度から補助率が上がったため、設備投資を行ったという意見があった。	利用者にとって活用しやすい事業内容の検討	設備投資促進事業補助金は、6件6,474千円を交付した。	利用者にとって活用しやすい事業内容の検討	中小企業設備投資額	78,000千円	目標	130,000千円	182,000千円	260,000千円
				実績	269,307千円	105,954千円								
		②経営相談の実施	・中小企業活性化事業費	利用者にとって活用しやすい事業内容の検討	巡回訪問と相談サポート合わせて50社を訪問した。利用者が積極的に活用したくなる方を事業者と検討し、次年度からは国県種補助金の案内も出来ることをアピールすることとした。	利用者にとって活用しやすい事業内容の検討	巡回訪問と相談サポート合わせて50社を訪問した。利用者が積極的に活用したくなる方を委託事業者と検討し、次年度からは相談会形式で企業が経営相談しやすい場所をつくることとした。	利用者にとって活用しやすい事業内容の検討	経営改善巡回訪問、相談サポート件数	60件	目標	50件	50件	50件
				実績	50件	50件								
	(2)交流促進と取引拡大の推進	①取引拡大・販路開拓の支援	・見本市等出展事業補助金 ・市内企業等データベース管理事業費	事業の周知 関係機関との連携	見本市等出展事業補助金は、17件2,821千円を交付した。商工会議所で情報提供を行ったこともあり、新規の申請者が多かった。データベースについては、利用者アンケートを実施し、次年度の見直しに活かす。	事業の周知 関係機関との連携	見本市等出展事業補助金は、37件6,571千円を交付した。商工会議所で情報提供を行ったこともあり、新規の申請者が多かった。データベースについては、費用対効果等から、今年度末における廃止を決定した。	事業の周知 関係機関との連携	見本市等出店事業補助金交付件数	8件	目標	24件	30件	40件
				実績	27件	37件								
		②地域資源をいかした産業の創出	・産学共同研究事業補助金 ・市内企業等データベース管理事業費	事業の周知 関係機関との連携	産学共同研究事業補助金は、3件2,400千円を交付した。過去2年は申請がなかったが、コロナ禍の影響により、新規事業を希望する事業者があった。	事業の周知 関係機関との連携	産学共同研究事業補助金は、令和3年度において終了した。 地域ならではの魅力を発信するため、異業種ネットワークの取組を支援する。	事業の周知 関係機関との連携 市内事業所の交流促進	(令和3年～令和4年) 産学共同研究事業補助金交付件数 (令和5年～) あつぎ生まれのロボット発信事業実施件数	0件	目標	2件	2件	2件 4件
				実績	3件	-								
	(3)ロボット産業の推進	①生活支援ロボットの普及促進	・ロボット産業推進事業費	さがみロボット産業特区協議会への参加 事業の効果的な周知方法の検討	コロナの影響で、さがみロボット産業特区協議会は書面開催となったが、県担当者で随時情報交換を行った。 中小企業が生産性向上のためにロボット等の導入を促進するため、8月に新たな補助金を創設した。	さがみロボット産業特区協議会への参加 事業の周知	コロナの影響で、さがみロボット産業特区協議会は書面開催となったが、県担当者で随時情報交換を行った。 厚木市IT・IoT導入補助金(ロボット関連産業等促進事業補助金)は3件1,100千円を交付した。	さがみロボット産業特区協議会への参加 事業の周知	ロボット関連産業等促進事業補助金交付件数	令和3年度新規	目標	3件	4件	5件
				実績	1件	3件								
		②ATSUMOとの協働事業の推進	・ロボット普及促進事業費	コロナ禍における事業の実施方法の検討	ロボットリテラシー授業を児童館や小学校において行ったが、コロナの影響により残念ながら中止となった会場もあった。	より効果的な事業の実施方法の検討	ロボットリテラシー授業を小学校において行ったほか、市民向けにロボットを始めとした先端技術に関する講演会等 民と官が協働し、ロボット関連事業を推進できる取組を実施した。	より効果的な事業の実施方法の検討	ロボットリテラシー事業への参加者数	103人	目標	200人	250人	300人
				実績	658人	605人								

産業マスタープラン前期実施計画 取組状況 (Ⅱ にぎわいあふれ 特色のある 強い産業の実現)

基本方針	基本施策	単位施策	関連事業	計画と実績						成果指標	現状値 (令和2年度)	目標と実績			
				令和3年度		令和4年度		令和5年度				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績						
1 活気ある商店街づくり	(1) 商店会の積極的な取組への支援	① 商店会の相互連携を支援	・販売促進事業補助金 ・あつぎ商店会PR事業補助金	商業者が協力して実施する事業の支援	2つの商店会が協力し、共同実施したプレミアム商品券事業について、県と市で補助金を交付し、実施の支援を行った。	商業者が協力して実施する事業の支援	商店会が実施したプレミアム商品券事業について、県と市で補助金を交付し、実施の支援を行った。2つの商店会が協力し、共同実施したケースもあった。 第1期:5商店会 第2期:6商店会	商業者が協力して実施する事業の支援	商店街活性化事業数	11事業	目標	12事業	14事業	16事業	
		② 商業振興事業を支援	・販売促進事業補助金 ・あつぎ商店会PR事業補助金 ・商店会連合会振興費補助金 ・にぎわいまちの魅力創造事業費	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	市内商業の核団体である商店会連合会の事業活動に要する経費の一部を補助することで、市内の商業振興を図った。	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	市内商業の核団体である商店会連合会の事業活動に要する経費の一部を補助することで、市内の商業振興を図った。	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	商店街活性化事業数	11事業	実績	6事業	16事業		
	(2) 空き店舗対策	① 空き店舗を活用した中心市街地の活性化	・にぎわい爆発あつぎ国際大道芸開催事業費 ・にぎわいまちの魅力創造事業費 ・元気な街づくり応援事業補助金 ・まちなか活性化事業補助金 ・販売促進事業補助金 ・中心市街地商店街空店舗対策事業補助金	空き店舗への新規出店者への支援	中心市街地商店街空店舗対策事業補助金への申請が19件あり、18件を認定した。	空き店舗への新規出店者への支援	中心市街地商店街空店舗対策事業補助金への申請が12件(内再申請2件)あり、10件を認定した。	空き店舗への新規出店者への支援	中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	27.1%	目標	30%	35%	40%	
											実績	29.3%	31.2%		
	2 魅力と特色ある商店街づくり	(1) 魅力ある商店街づくり	① 新たな顧客獲得機会を支援	・商業活性化セミナー事業費 ・商店会連合会振興費補助金 ・商業元気アップ事業補助金	新たな顧客獲得機会に繋がるような活動の支援	商業活性化セミナーを開催し、新たな顧客獲得機会に繋がるよう支援した。 〔筆ペンPOP講座〕は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新たな顧客獲得機会に繋がるような活動の支援	商業活性化セミナーを2回開催し、新たな顧客獲得機会に繋がるよう支援した。	新たな顧客獲得機会に繋がるような活動の支援	商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合	43.2%	目標	43.5%	44%	44.5%
			② 商業振興事業を支援	・商業元気アップ事業補助金 ・にぎわいまちの魅力創造事業費	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	厚木商工会議所が実施する「中心市街地3商店会キッズアート事業」と「厚木市ご当地グルメ推進事業」の事業費の一部を補助した。	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	厚木商工会議所が実施する「ご当地グルメ推進事業」の事業費の一部を補助した。	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	商店街活性化事業数	11事業	実績	42.6%	46.4%	
(1) 商業振興イベントの推進		① まちの魅力創造	・にぎわい爆発あつぎ国際大道芸開催事業費 ・にぎわいまちの魅力創造事業費 ・元気な街づくり応援事業補助金 ・まちなか活性化事業補助金 ・販売促進事業補助金 ・中心市街地商店街空店舗対策事業補助金	来街促進を図るため、効果的、効率的なイベントの開催	大道芸やジャズナイト、東部ふれあい市、南口ホコ天まつり等は、感染拡大防止のため開催中止となったが、まちなか活性化プロジェクトが主体となり、あつぎ青春劇場やハロウィンやクリスマスに合わせたイベント等を感染症対策を行いながら実施した。	来街促進を図るため、効果的、効率的なイベントの開催	大道芸:11月12・13日に開催し、街のにぎわい創出を図った。 まちなか活性化プロジェクト:あつぎ青春劇場やハロウィンに合わせたイベント等を実施した。	来街促進を図るため、効果的、効率的なイベントの開催	中心市街地の活性化イベント実施数	11イベント(令和2年度) 41イベント(令和元年度)	目標	43イベント	44イベント	45イベント	
											実績	28イベント	34イベント		
3 にぎわいあふれるまちづくり	(1) 商業振興イベントの推進	② 商店街の連携による共同事業を支援	・にぎわい爆発あつぎ国際大道芸開催事業費 ・にぎわいまちの魅力創造事業費 ・元気な街づくり応援事業補助金 ・まちなか活性化事業補助金 ・販売促進事業補助金 ・中心市街地商店街空店舗対策事業補助金	商業者が協力して実施する事業の支援	2つの商店会が協力し、共同実施したプレミアム商品券事業について、県と市で補助金を交付し、実施の支援を行った。	商業者が協力して実施する事業の支援	商店会が実施したプレミアム商品券事業について、県と市で補助金を交付し、実施の支援を行った。2つの商店会が協力し、共同実施したケースもあった。 第1期:5商店会 第2期:6商店会	商業者が協力して実施する事業の支援	中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	27.1%	目標	30%	35%	40%	
											実績	29.3%	31.2%		

産業マスタープラン前期実施計画 取組状況 (Ⅱ にぎわいあふれ 特色のある 強い産業の実現)

基本方針	基本施策	単位施策	関連事業	計画と実績						成果指標	現状値 (令和2年度)	目標と実績		
				令和3年度		令和4年度		令和5年度				令和3年度	令和4年度	令和5年度
				計画	実績	計画	実績	計画	実績					
4 地域に愛される居場所があるまちづくり	(1)買物支援	①幅広い年代へのサポートを支援	・子育てパスポート事業費	子育てパスポート事業の電子化リニューアル	事業の実施体制を電子化し、会員登録、カード提示、サポーター店舗検索など紙ベースで行っていたことを、すべてスマートフォンで完結できるようにシステムを構築した。	AYUCOの会員とサポーター店舗募集の広告宣伝活動	会員募集のチラシを作成し、小田急沿線に配架した。また、利用者の声を受け、システム改修を実施した。	AYUCOの会員とサポーター店舗募集の広告宣伝活動	子育てパスポートAYUCOカードサポーター店舗数	371店	目標	350店	360店	370店
	(2)子育て支援										実績	351店	354店	
	(3)環境配慮	②環境と人にやさしい商店街づくりを支援	・商店街LED化事業補助金 ・商店街共同施設補助金	商店会街路灯のLED化の推進や、エコ活動・美化清掃への参加促進	商店会街路灯のLED化の新規設置や改修等の実施はなかったが、にぎわい美化清掃にアユモを導入するなど、参加を促進できた。	商店会街路灯のLED化の推進や、エコ活動・美化清掃への参加促進	商店会街路灯を25基LED灯に改修した。また、にぎわい美化清掃では引き続きアユモ活用し、参加の促進を図った。	商店会街路灯のLED化の推進や、エコ活動・美化清掃への参加促進	商店会の街路灯総数に対するLED照明の割合	54.2%	目標	56%	58%	60%
	(4)防犯対策										実績	55.3%	56.7%	
	(5)愛市購買運動	③市内店舗の効果的なPRを支援	・あつぎ商店会PR事業補助金 ・販売促進事業補助金	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	PR事業及び販売促進事業について、感染症拡大の影響で、4商店会4事業のみの実施となった。	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	PR事業及び販売促進事業について、9商店会12事業を実施した。	商業振興事業・愛市購買推進事業等の支援	あつぎ商店会PR事業数及び販売促進事業数	8事業	目標	8事業	10事業	12事業
	実績										4事業	14事業		
5 中心市街地の整備・開発等との連携	(1)中心市街地の活性化に向けた取組	①大規模小売店舗との連携	・アミュあつぎ運営事業費 ・大規模小売店舗ネットワーク補助金 ・まちなか活性化事業補助金	大規模小売店舗同士の連携や、各商店会との連携の推進	中心市街地の大規模小売店舗と各商店会が連携し、「あつぎ買ウカウキャンペーン」を実施した。	大規模小売店舗同士の連携や、各商店会との連携の推進	中心市街地の大規模小売店舗と各商店会が連携し、「あつぎ買ウカウキャンペーン」を実施した。	大規模小売店舗同士の連携や、各商店会との連携の推進	中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	27.1%	目標	30%	35%	40%
											実績	29.3%	31.2%	
		②一体的なまちづくりを推進	・アミュあつぎ運営事業費 ・大規模小売店舗ネットワーク補助金 ・まちなか活性化事業補助金	一体的なまちづくりの推進	ソフト面での推進として、大型店と各商店会が互いの店舗を回遊させるイベントを、合同で実施した。	ソフト面での推進として、大型店と各商店会が互いの店舗を回遊させるイベントを、合同で実施した。	ソフト面での推進として、大型店と各商店会が互いの店舗を回遊させるイベントを、合同で実施した。	一体的なまちづくりの推進	中心市街地の歩行者数	109,836人 (令和元年度調査結果。令和2年度は調査未実施)	目標	110,000人	110,500人	111,000人
		実績	98,282人	94,327人										
	③住民等による主体的な取組を支援	・まちなか活性化事業補助金	地域環境・地域価値の維持、向上を図る取組の支援	まちなか活性化プロジェクトに補助金を交付し、事業者・自治会・大学生など様々なファクターによる取組を支援した。	地域環境・地域価値の維持、向上を図る取組の支援	まちなか活性化プロジェクトに補助金を交付し、事業者・自治会・大学生など様々なファクターによる取組を支援した。	地域環境・地域価値の維持、向上を図る取組の支援	中心市街地の活性化イベント実施数	11イベント(令和2年度) 41イベント(令和元年度)	目標	43イベント	44イベント	45イベント	
										実績	28イベント	34イベント		

産業マスタープラン前期実施計画 取組状況 (Ⅲ 社会情勢の変化に柔軟に対応できる強い産業の実現)

基本方針	基本施策	単位施策	関連事業	計画と実績						成果指標	現状値 (令和2年度)	目標と実績				
				令和3年度		令和4年度		令和5年度				令和3年度	令和4年度	令和5年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績							
1 人材が集まる魅力ある職場づくり	(1)労働者の生活基盤の安定	①生活基盤づくりの支援	・勤労者生活資金預託金 ・中小企業退職金等共済掛金補助金 ・勤労相談事業費	協調倍率変更による影響、効果の検証 相談事業実施回数の変更による影響、効果の検証	勤労者生活資金預託金は協調倍率の変更の影響もあり、利用が大幅に増加した。 中退共補助金は100件3,527件を、特退共補助金は9件241千円を交付した。 相談事業については、コロナの影響で中止した月もあったが、相談件数は増加した。	実績に基づいた、預託金額の検討 事業の周知・実施	勤労者生活資金預託金は利用が大幅に増加し、制度予算上限額の9割に達したため、貸付を停止することがあった。 中退共補助金は89件3,839千円を、特退共補助金は8件192千円を交付した。 相談事業については、対面相談に加えてオンライン相談も可能とし、相談件数は増加した。	実績に基づいた、預託金額の検討 事業の周知・実施	勤労者生活資金融資案件数	4件	目標	30件	40件	50件		
				②人材確保の支援	・あつぎ起業スクール開催事業費 ・創業者支援利子補給	コロナ禍における事業の実施方法の検討	あつぎ起業スクールは開催できなかったが、オンラインでの開催の検討など、次年度に向けて課題を整理した。	開催方法及び関係機関との連携による実施の検討	厚木商工会議所と連携し、あつぎ起業スクールをオンラインで開催した。新型コロナウイルスの影響により2年ぶりの開催となったが、50人が修了した。	検討結果に基づく効果的な事業の実施 事業の周知・実施	あつぎ起業スクール修了者の起業家数	0人	目標	2人	3人	4人
						・勤労者奨学金返済助成金	事業の周知及び事業効果の検証	勤労者奨学金返済助成金は、58件5,031千円を交付した。市内大手企業を中心に、勤労者に対する周知ができた。	事業の周知及び事業効果の検証	勤労者奨学金返済助成金は、120件10,575千円をの申請があった。事業を開始し2年目であることから認知が拡大し始め、昨年度から2倍以上の申請があった。	事業の周知及び事業効果の検証	勤労者奨学金返済助成金交付件数	令和3年度新規	目標	50人	50人
	(2)労働力の確保と良好な雇用の創出	①起業・創業の支援	・あつぎ起業スクール開催事業費 ・創業者支援利子補給	事業の周知及び事業効果の検証	あつぎ起業スクールは開催できなかったが、オンラインでの開催の検討など、次年度に向けて課題を整理した。	開催方法及び関係機関との連携による実施の検討	厚木商工会議所と連携し、あつぎ起業スクールをオンラインで開催した。新型コロナウイルスの影響により2年ぶりの開催となったが、50人が修了した。	検討結果に基づく効果的な事業の実施 事業の周知・実施	あつぎ起業スクール修了者の起業家数	0人	実績	0人	3人			
				②余暇活動の充実	・技能振興事業費 ・技能職団体連絡協議会補助金 ・勤労者文化体育活動費補助金	コロナ禍における事業の実施方法の検討	技能振興事業費については、市表彰は例年どおり実施したが、コロナの影響により技能祭等は中止とした。 技能職団体連絡協議会補助金については、適切な補助を実施した。 勤労者文化体育活動費補助金については、コロナの影響により、開催の中止や変更があった。	より魅力あるあつぎ技能祭となるよう事業実施内容の検討	技能振興事業費については、技能祭を開催することができたが、3年ぶりの開催ということもあり、1,037人が参加した。 技能職団体連絡協議会補助金については、適切な補助を実施した。 勤労者文化体育活動費補助金については、コロナの影響により、開催の変更があった。	より魅力あるあつぎ技能祭となるよう事業実施内容の検討・実施	あつぎ技能祭来場者数	1,260人(令和元年度)	目標	1,400人	1,500人	1,600人
						・(公財)厚木市勤労者福祉サービスセンター補助金	適切な金額による補助の実施	職員の数管理等を事務局と検討し、適正な金額による補助が実施できた。	適切な金額による補助の実施	4月に定数管理計画を制定した。 それに基づき、適正な金額による補助が実施できた。	適切な金額による補助の実施	厚木市勤労者福祉サービスセンター会員数	5,050人	実績	5,096人	5,022人
(3)多様な人材の活躍推進	①高齢者や障がい者の雇用促進	・障害者雇用奨励交付金 ・高齢者継続雇用補助金	事業の周知及び事業効果の検証	障害者雇用奨励交付金は、39社5,410千円を交付した。 高齢者継続雇用補助金は、67件2,880千円を交付した。積極的な周知により、昨年度から15%申請が増えた。	事業の周知及び事業効果の検証	障害者雇用奨励交付金は、39社5,480千円を交付した。 高齢者継続雇用補助金は、64件2,760千円を交付した。	事業の周知及び事業効果の検証	障害者雇用奨励交付金件数	35件	目標	38件	41件	44件			
			②若者・女性の就労支援	・若者・女性雇用拡大事業費	コロナ禍における事業の実施方法の検討	昨年度はコロナ影響により事業者と求職者のマッチングについてはイベントでの開催が出来なかったため、今年度は、新たな手法を検討し、コロナの感染拡大状況においても、オンラインで開催した。	実績に基づき、事業内容の検討	コロナ影響及び就職活動の現状を鑑み、対面ではなくオンラインによる事業者と求職者のマッチングイベントを開催した。	実績に基づき、事業内容の検討	若者・女性雇用拡大事業参加者数	令和3年度新規手法	目標	50人	50人	50人	
					・ロボット関連産業等促進事業補助金	事業の効果的な周知方法の検討	ロボット関連産業等促進事業補助金の申請はなかったが、市ホームページや商工会議所広報誌・役員会で周知を行った。	実績に基づき、制度内容の検討	ロボット関連産業等促進事業補助金を通称としてIT・IoT導入補助金として広報することで、事業者にわかりやすく周知することができ、3件1,100千円を交付した。	実績に基づき、制度内容の検討	ロボット関連産業等促進事業補助金交付件数	令和3年度新規	目標	3件	4件	5件
(1)労働環境の整備を推進	②通勤環境の向上を支援	・(公財)厚木市勤労者福祉サービスセンター補助金	バス発着場の状況調査	本厚木駅及び愛甲石田駅周辺道路における企業バス利用状況調査の実施及び利用企業へのアンケートを実施した。	バス発着場の方向性の検討	保健福祉センター北側の大型バス発着場の暫定利用については、令和6年度末での廃止を決定した。 今後の整備については、引き続き検討中。	調査・検討に基づき、事業を実施	中町大型バス発着所利用企業社数	8社	目標	8社	8社	8社			
			①福利厚生性の推進	・技能振興事業費 ・技能職団体連絡協議会補助金 ・勤労者文化体育活動費補助金	適切な金額による補助の実施	職員の数管理等を事務局と検討し、適正な金額による補助が実施できた。	適切な金額による補助の実施	4月に定数管理計画を制定した。 それに基づき、適正な金額による補助が実施できた。	適切な金額による補助の実施	厚木市勤労者福祉サービスセンター会員数	5,050人	実績	5,096人	5,022人	5,125人	
					・(公財)厚木市勤労者福祉サービスセンター補助金	適切な金額による補助の実施	職員の数管理等を事務局と検討し、適正な金額による補助が実施できた。	適切な金額による補助の実施	4月に定数管理計画を制定した。 それに基づき、適正な金額による補助が実施できた。	適切な金額による補助の実施	厚木市勤労者福祉サービスセンター会員数	5,050人	実績	5,096人	5,022人	5,125人
(2)ワーク・ライフ・バランスの推進による働く意欲の向上	②余暇活動の充実	・技能振興事業費 ・技能職団体連絡協議会補助金 ・勤労者文化体育活動費補助金	コロナ禍における事業の実施方法の検討	技能振興事業費については、市表彰は例年どおり実施したが、コロナの影響により技能祭等は中止とした。 技能職団体連絡協議会補助金については、適切な補助を実施した。 勤労者文化体育活動費補助金については、コロナの影響により、開催の中止や変更があった。	より魅力あるあつぎ技能祭となるよう事業実施内容の検討	技能振興事業費については、技能祭を開催することができたが、3年ぶりの開催ということもあり、1,037人が参加した。 技能職団体連絡協議会補助金については、適切な補助を実施した。 勤労者文化体育活動費補助金については、コロナの影響により、開催の変更があった。	より魅力あるあつぎ技能祭となるよう事業実施内容の検討・実施	あつぎ技能祭来場者数	1,260人(令和元年度)	実績	0人	1,037人				
			②若者・女性の就労支援	・若者・女性雇用拡大事業費	コロナ禍における事業の実施方法の検討	昨年度はコロナ影響により事業者と求職者のマッチングについてはイベントでの開催が出来なかったため、今年度は、新たな手法を検討し、コロナの感染拡大状況においても、オンラインで開催した。	実績に基づき、事業内容の検討	コロナ影響及び就職活動の現状を鑑み、対面ではなくオンラインによる事業者と求職者のマッチングイベントを開催した。	実績に基づき、事業内容の検討	若者・女性雇用拡大事業参加者数	令和3年度新規手法	目標	50人	50人	50人	
					・若者・女性雇用拡大事業費	コロナ禍における事業の実施方法の検討	昨年度はコロナ影響により事業者と求職者のマッチングについてはイベントでの開催が出来なかったため、今年度は、新たな手法を検討し、コロナの感染拡大状況においても、オンラインで開催した。	実績に基づき、事業内容の検討	コロナ影響及び就職活動の現状を鑑み、対面ではなくオンラインによる事業者と求職者のマッチングイベントを開催した。	実績に基づき、事業内容の検討	若者・女性雇用拡大事業参加者数	令和3年度新規手法	実績	240人	295人	